

平成23年度 (平成22年度分)		事務事業評価票					D 進ちょく管理型		No. 1030114	
I 事業の概要										
I-1 事業の概要										
事務事業名		廃棄物減量等推進審議会運営					所管局部課等		環境政策局循環型社会推進部循環企画課	
ホームページアドレス		http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-5-0-0-0_11.html					(連絡先)		213-4930	
							(評価票作成者)		循環企画課長 牧村 雅史	
22決算額 (千円)		23予算額 (千円)		今後の方向性 現状のまま継続			24予算額 (千円)		事務事業の内容 ごみ減量の具体的な推進方策について様々な分野から議論し、本市に提言を行うために設置された「京都市廃棄物減量等推進審議会」について、事務局として運営を行う。	
1,353		2,362					2,246			
業務運営方法		☒ 直営 ☐ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等		委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容						
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例					事務事業の性格		☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業	
開始時期		平成	5	年度	終了(予定)時期	平成	ー	年度	会計区分	
事業に関連する実行計画等		☒ 有 ☐ 無		計画名		京都市循環型社会推進基本計画 (2009ー2020)			計画期間	
									平成21年度から平成32年度まで	
I-2 投入量										
年間経費等推移 (千円)		No.	区分			H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
①		事業費 (千円)				2,044	1,927	1,353	2,362	2,246
		報酬 (委員報酬)				1,323	1,093	1,094	1,242	1,175
		需用費 (事務用品等)				403	473		480	480
		使用料及び賃借料 (会場使用料等)				175	188	100	294	294
		その他				143	173	159	346	297
		①' 委託料								
②		委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)								
③		人件費 (24年度は見込) (千円)				19,168	18,690	7,584	5,534	6,244
		職員(課長級) (人)				0.08	0.08	0.06	0.04	0.12
		職員(課長補佐級、係長級) (人)				0.66	0.65	0.21	0.16	0.14
		職員(係員) (人)				1.32	1.30	0.58	0.42	0.42
		嘱託職員等人件費 (千円)								
④		年間経費 (①+②) (千円)				21,212	20,617	8,937	7,896	8,490
⑤		特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)								
		国庫・府支出金 (千円)								
		その他() (千円)								
⑥		京都市年間負担経費 (③ー④) (千円)				21,212	20,617	8,937	7,896	8,490

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名

廃棄物減量等推進審議会運営

業績評価

A 進捗状況	平成20年度以前	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実施状況	・指定袋制導入の具体的なあり方について、「事業系ごみの減量施策のあり方」について、新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）についての審議・答申など	・「新京都市循環型社会推進基本計画策定に向けた提言について」中間まとめ（7月） ・「新京都市循環型社会推進基本計画策定に向けた提言について」中間まとめについての意見募集（7月） ・「新京都市循環型社会推進基本計画策定に向けた提言」答申（12月）	・有料化財源活用方法に関するとりまとめ（8月） ・家庭から出されたごみの持ち去り禁止に関するとりまとめ（8月）	・京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）の進捗状況の報告
事業の進捗率				
進捗状況分析	平成22年4月から審議会委員で構成される「有料化財源活用方法検討ワーキングチーム」が設置され3回の審議を経て、それらの審議をもとに審議会において最終的な審議がなされ、平成22年8月に「有料化財源活用方法に関するとりまとめ」が公表された。 また、家庭から出されたごみの持ち去り禁止に関して、審議会において2回の審議がなされ、平成22年8月に「家庭から出されたごみの持ち去り禁止に関するとりまとめ」が公表された。			
B 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般	＜現状分析、今後の方針等＞ ごみ減量及びリサイクルの取組についての課題等を審議会にて議論していただくため、事務局として審議会運営を行っていく。		

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続	（今後の方向性理由及び具体的な内容） 循環型社会、低炭素社会の実現に向けた、環境モデル都市として先進的なごみ減量の取組のあり方等について、必要に応じて審議会に諮る。 ごみの減量、リサイクル及び適正処理を取り巻く状況は日々変化していることから、平成22年3月に策定した「京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）」の進捗状況や関連動向を審議会にて定期的に報告し、ごみに関する取組を審議していく。
---------	--